

高源寺の無縁墓に思う

稲土地区の水道水は旨い。さらに美味しい水があると聞き「銚子ケ水」を味わってきました。一休禅師が名付けた名水で、山中の岩間から間欠的に湧き出していました。カルシウム分が多く、飲みやすいものでした。

その後、桧倉にある高源寺を訪れました。観光案内によると秋の真っ赤な天目楓の紅葉が売り物のようですが、夏の濃い緑もまた別の良さがあるように思いました。少し登って行き墓地に目をやると高い「パゴダ」のような墓石を積み上げた「塔」が目につきました。これは守る人がいなくなってしまった墓石をまとめて供養するものだと思いますが、大変大きなものになっていました。若い人が少なくなり、過疎化の現実を象徴しているように見える「塔」はあまり大きくならないように祈りました。



<銚子ケ水>



<高源寺>



昼の時刻になり「あまご村」を經由し、大名草地区の最奥にあるそば屋「大名草庵」を訪れました。この「大名草庵」は、この地に移住を決められたご夫婦が開店されたお店です。茅葺屋根の、いかにも「田舎のそば屋」然とした外・内観はとても心地良く、落ち着いていました。「そば」は十割そばで、香りのある実に旨いものでした。メインのそばの前に出てくる一皿がまたお酒のつまみになりそうな美味しいそうなものばかりで、車で来たことが残念でなりませんでした。



<大名草庵>